

2021年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 欧米文学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>欧米文学科目の問題は、英米・英語圏文学、ロシア文学、フランス文学および西洋古典学（ギリシア語・ラテン語）の各分野から出題されている。出題の意図は、修士課程の標準修業年限内に修士論文を提出するための前提条件を満たしているかどうかを問うものである。具体的には、それぞれの分野における基本的な文学史・文学理論などに関する知識、および欧文（英語、ロシア語、フランス語、ギリシア語、ラテン語）文献の読解力を判定する。</p>

2021年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 欧米文学 全9枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 9枚、解答用紙 2枚を配付する。

解答における注意

（専門試験）欧米文学の出題範囲は、英米・英語圏文学、フランス文学、ロシア文学、西洋古典学です。志望する分野に応じた出題範囲の問題を選択し、その設問 I と設問 IIに答えてください。

解答用紙は2枚あります。それぞれの解答用紙の回答欄の1行目左に、出題範囲と設問番号を記入してください。各設問は別の解答用紙を使ってください。

出題範囲・設問・ページ

英米・英語圏文学	設問 I・設問 II	2～3
フランス文学	設問 I・設問 II	4～5
ロシア文学	設問 I・設問 II	6～7
西洋古典学	設問 I・設問 II	8～9

[英米・英語圏文学] 設問 I

Choose two literary terms out of “affective fallacy,” “feminine ending,” “pastoral drama,” and “yellow journalism,” and then discuss each term separately. Where does it come from? How does it work? Has its function changed? Demonstrate your understanding of each term, first by its original definition and then by its current use in English literature. Make sure you explain its characteristics by referring to at least two literary texts in order to effectively prove your idea(s).

On the first literary term of your choice, please write the essay in Japanese, though you may refer to the texts' titles and term(s) in English. The essay on the second literary term you choose has to be written in English. You may write as much as you wish within the given time.

[英米・英語圏文学] 設問 II

次の英文を和訳せよ。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Daisetz Suzuki, *Essays in Zen Buddhism*. Rider, 1934, p.329.

[フランス文学] 設問 I

以下のフランス語の文章をすべて和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Pierre V. Zima, *L'Ambivalence romanesque*, L'Harmattan, 2002, p.39.

[フランス文学] 設問 II

仮に以下の作品のうち一つを選んで研究を行うとしたら、あなたはどのような方法を用いるのか、論じなさい。最初の行に選んだ作品のタイトルを日本語で書くこと。

- Pascal, *Pensées*
- Voltaire, *Candide*
- Stendhal, *Le Rouge et le Noir*
- Rimbaud, *Une Saison en enfer*
- Breton, *Nadja*
- Camus, *La Peste*

[ロシア文学] 設問Ⅰ

次にあげる人物のうち一人について、その文学史上の意義を含めて説明しなさい。

1. Д. И. Фонвизин (1745-1792)
2. А. С. Пушкин (1799-1837)
3. Н. Г. Чернышевский (1828-1889)
4. Л. Н. Андреев (1871-1919)
5. В. С. Гроссман (1905-1964)

[ロシア文学] 設問 II

次の文を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典： *Сухих, И.Н.* Русская литература для всех. (От Гоголя до Чехова). Спб. Издательская группа «Лениздат», 2013. С.82-83.

〔西洋古典学〕 設問 I

次の文を日本語に訳せ。また、この著者及び著作について、知るところをなるべく詳細に述べよ。

Ἀρχαῖον οἶμαι καὶ λίαν Πλατωνικὸν ὑπὸ προσήματι φαυλοτέρας ὑποθέσεως κρύπτειν τὰ ἐν φιλοσοφίᾳ σπουδαῖα, τοῦ μήτε τὰ μόλις εὐρεθέντα πάλιν ἐξ ἀνθρώπων ἀπόλλυσθαι, μήτε μολύνεσθαι δήμοις βεβήλοις ἐκκείμενα. Τοῦτο τοίνυν ἐξηλώθη μὲν ὅτι μάλιστα τῷ παρόντι συγγράμματι· εἰ δὲ καὶ τούτου τυγχάνει, καὶ τὰ ἄλλα περιττῶς εἰς τὸν ἀρχαῖον τρόπον ἐξήσκηται, ἐπιγνοῖεν ἂν οἱ μετὰ φιλοσόφου φύσεως αὐτῷ συνεσόμενοι.

Εἰ δὲ εἰσιν ὕπνοι προφήται, καὶ τὰ ὄναρ θεάματα τοῖς ἀνθρώποις ὀρέγουσι τῶν ὕπαρ ἐσομένων αἰνίγματα, σοφοὶ μὲν ἂν εἰεν, σαφεῖς δὲ οὐκ ἂν εἰεν, ἢ σοφὸν αὐτῶν καὶ τὸ μὴ σαφές· κρύψαντες γὰρ ἔχουσι θεοὶ βίον ἀνθρώποισιν.

Synesius, *De insomniis*, Prol.-1.1

註：

- πρόσχημα 口実
- μολύνω 汚す
- ἐκκεῖμαι 露わにされる
- ὅτι μάλιστα 「可能な限り」
- ἐξασκέω ここでは「彫琢する」
- σύνεμι + dat. ～とかかわる
- ὄναρ ここでは adv. 「夢で」
- ὀρέγω 手渡す、与える
- ὕπαρ ここでは adv. 「うつつで」
- κρύψαντες ἔχουσι = have hidden

〔西洋古典学〕 設問Ⅱ

次の文を日本語に訳せ。また、この著者について、知るところをなるべく詳細に述べよ。

“An,” inquit illa, “te, alumne, desererem nec sarcinam quam mei nominis invidia sustulisti, communicato tecum labore partirer? Atqui Philosophiae fas non erat incomitatum relinquere iter innocentis; meam scilicet criminationem vererer et quasi novum aliquid acciderit, perhorrescerem? Nunc enim primum censes apud improbos mores lacessitam periculis esse sapientiam? Nonne apud veteres quoque ante nostri Platonis aetatem magnum saepe certamen cum stultitiae temeritate certavimus eodemque superstite praeceptor eius Socrates injustae victoriam mortis me adstante promeruit?”

Boethius, *Philosophiae consolatio*, I 3

註：

- ・ illa = Philosophia
- ・ sarcina 重荷
- ・ partior 分割する
- ・ vereor -eri 恐れる
- ・ perhorresco 大いに身震いする
- ・ primum ここでは lacessitam esse にかかる
- ・ improbus -a -um 劣悪な
- ・ lacesso 挑発する
- ・ certo 戦う
- ・ eodem ここでは Plato を指す
- ・ superstes -stis 居合わせる
- ・ testor ～を証言する
- ・ promereo ここでは「獲得する」